

# 一般社団法人日本アルミニウム協会における 自主行動計画フォローアップ調査について

令和6年12月18日

一般社団法人 日本アルミニウム協会

# 1. 令和6年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・ 調査期間：令和6年10月8日～31日
- ・ 調査企業：日本アルミニウム協会の会員企業の内、アルミ製品メーカー：地金部門、圧延・押出部門、加工・組立部門、鋳鍛造部門に属する74社対象
- ・ 回答企業：37社
- ・ 回答率：50.0%

# 1. 令和6年度フォローアップ調査結果（概要）

## 概観

- ✓ 「合理的な価格決定」は、発注側、受注側とも「労務費/原材料価格/エネルギー価格」の各コストを概ね反映した。
- ✓ 「原価低減要請」は、発注側は「行っていない」と回答した割合は79%。  
受注側で「受けたことがない」と回答した割合は67%。
- ✓ 「支払い条件」は、「全て現金払い」の割合は発注側が52%、受注側が42%。  
「約束手形の利用の廃止」については、「廃止予定はない」との回答はなかった。
- ✓ 「型取引の適正化」は、発注側、受注側とも型管理における適正化や改善の取組が「あまり実施されていない」「実施されていない」との回答が一定割合あり、改善の取組が必要。
- ✓ 「知的財産に関する適正な取引」は、発注側は適正な取引取引を実施するための取組を実施した割合は高く、受注側は、販売先から不当な行為を受けた割合は少なかった。
- ✓ 「働き方改革」は、発注側では短納期発注や急な仕様変更は行わず、適正なコストを負担した割合が高い一方、受注側では販売先から適正なコストを負担してもらえないとの回答が一定割合あり、改善の取組が必要。

# 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

## 重点課題に対する取組①合理的な価格決定

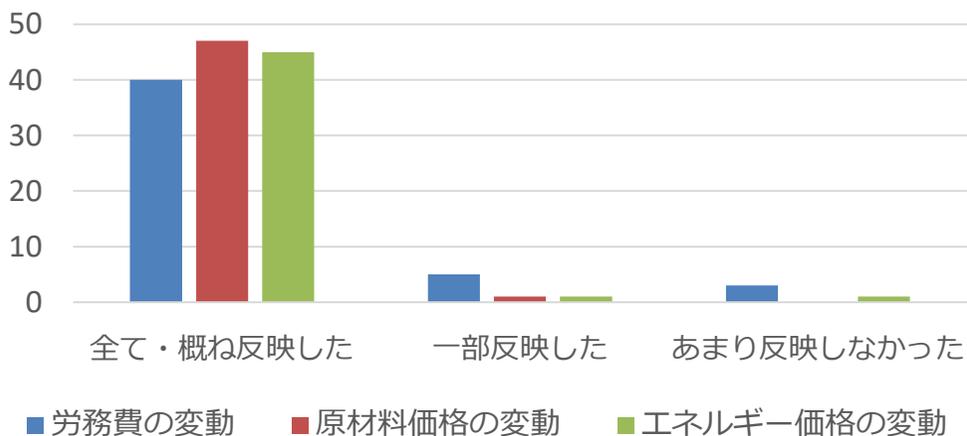
### 【分析結果・今後の課題】

- ・発注側、受注側とも「労務費/原材料価格/エネルギー価格」の各コストを概ね反映した。

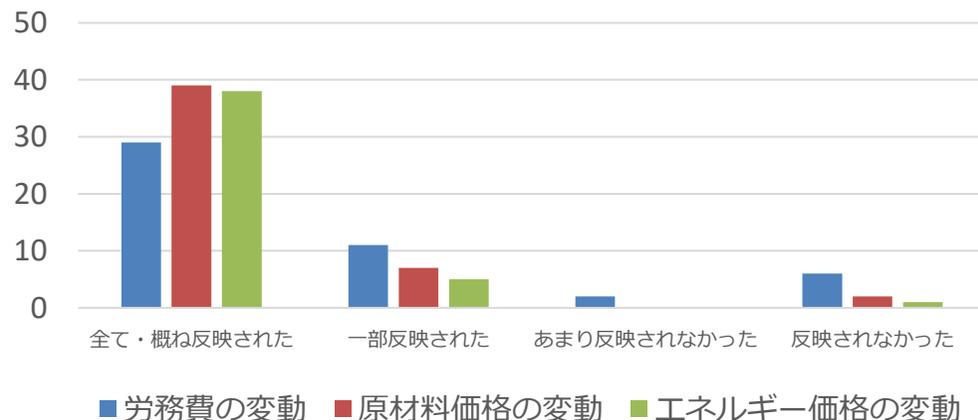
### 【設問と回答】

設問. 2024年度に適用する単価の決定・改定にあたり、各変動コストの反映状況をお答えください。

#### 発注側



#### 受注側



## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組①合理的な価格決定

#### 【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 価格交渉促進月間（9月、3月）の取組を会員企業に周知する。
- ・ 経済産業省からの下請取引の適正化に関する文書を会員企業に周知するよう引き続き努める。

## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組②原価低減要請、協賛等

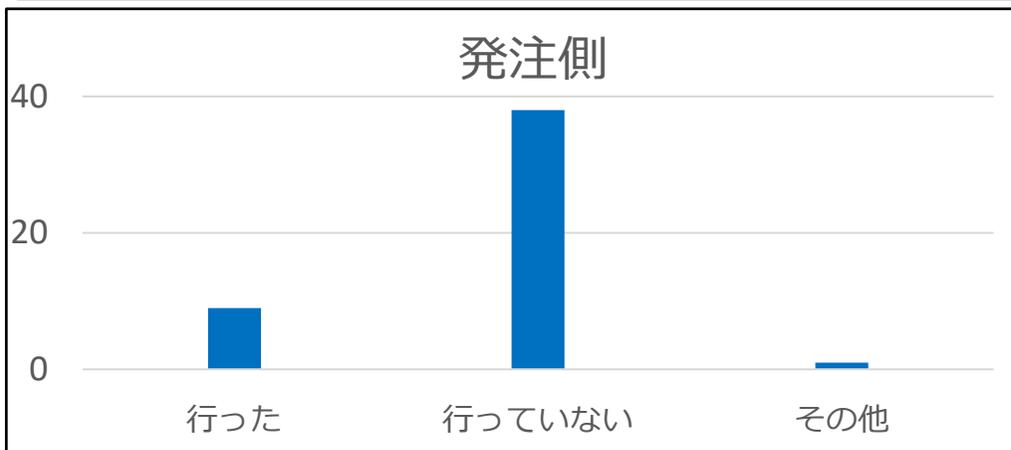
#### 【分析結果・今後の課題】

- ・発注側で、原価低減要請を「行っていない」と回答した割合は79%。
- ・受注側で、販売先から原価低減要請や利益提供要請を「受けたことがない」と回答した割合は67%。

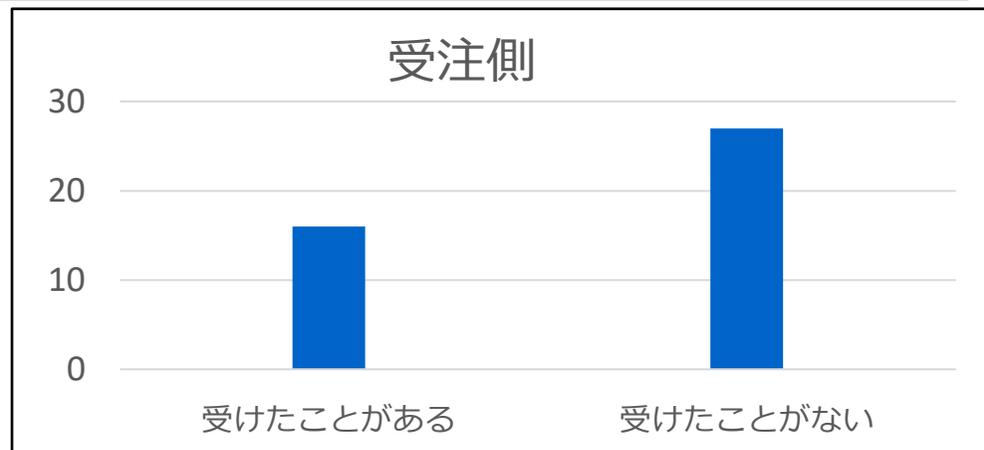
#### 【設問と回答】

設問. 直近1年間で、仕入先に対して原価低減要請を行いましたか（発注側）。／直近1年間で、販売先から原価低減要請や利益提供要請を受けたことがありますか（受注側）。

発注側



受注側



## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組②原価低減要請、協賛等

#### 【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 経済産業省からの下請取引の適正化に関する文書を会員企業に周知するよう引き続き努める。

# 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

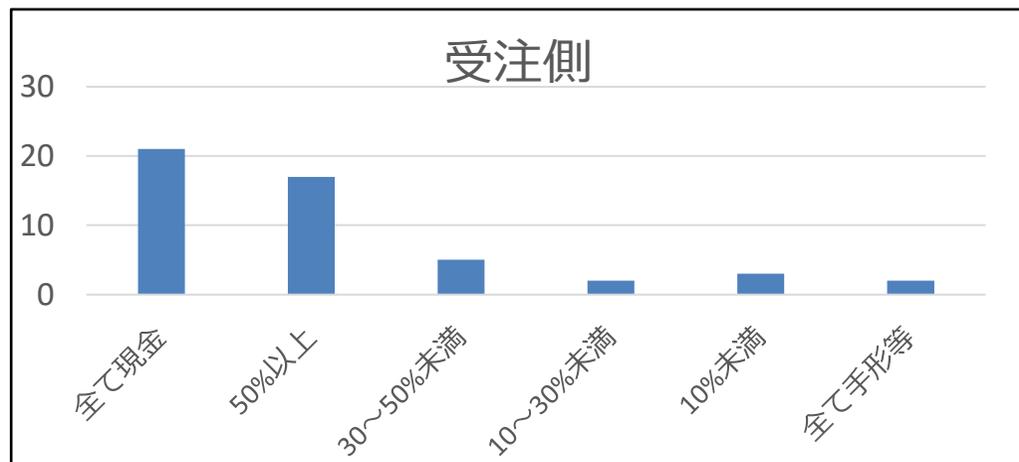
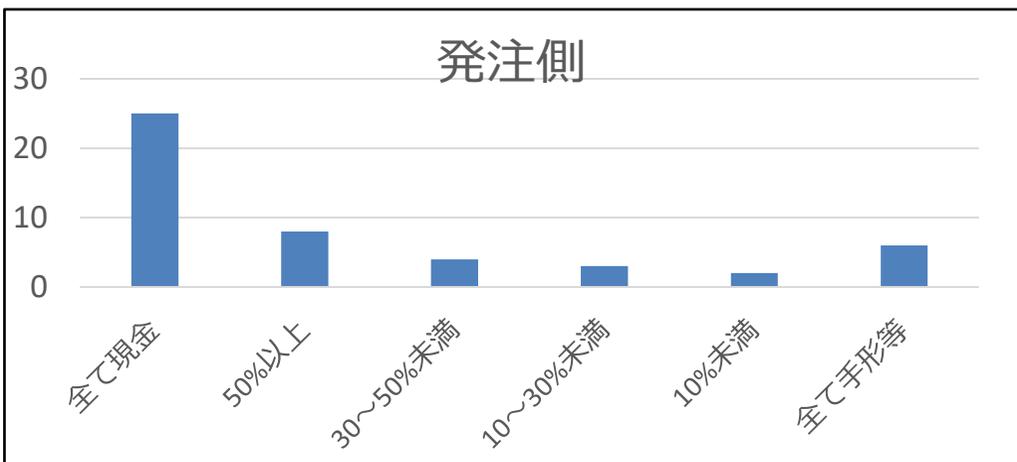
## 重点課題に対する取組③支払条件の改善

### 【分析結果・今後の課題】

- ・「全て現金払い」の割合は発注側が52%、受注側が42%。
- ・政府が2026年までに約束手形の利用廃止の方針であるが、「約束手形の利用の廃止予定はない」との回答はなかった。

### 【設問と回答】

設問. 直近1年間で、取引金額が最も大きい仕入先との取引について、現金払いの割合をお答えください（発注側）。／下請代金の現金払いの割合はどれくらいですか（受注側）。

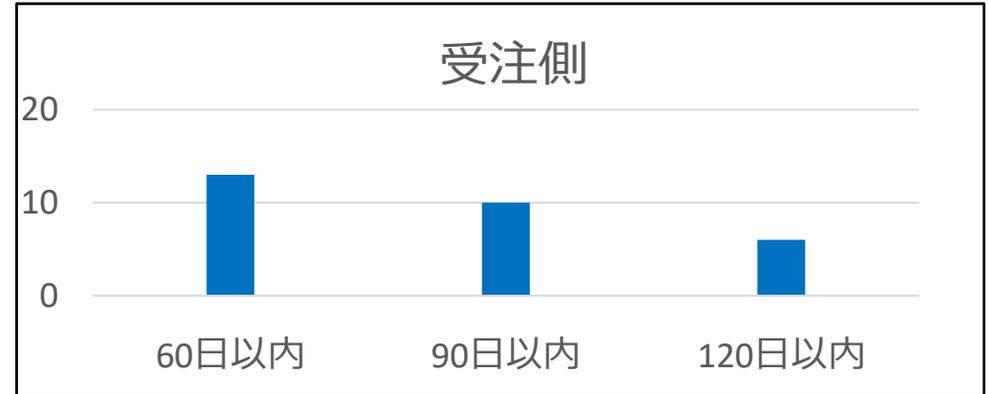
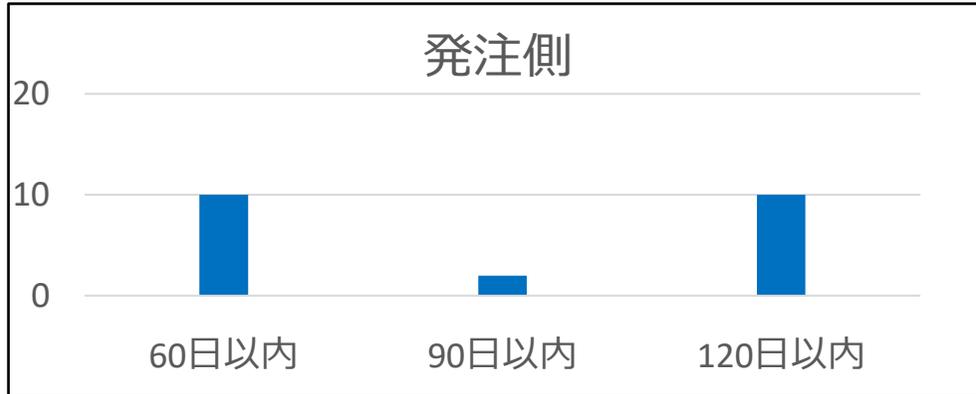


# 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

## 重点課題に対する取組③ 支払条件の改善

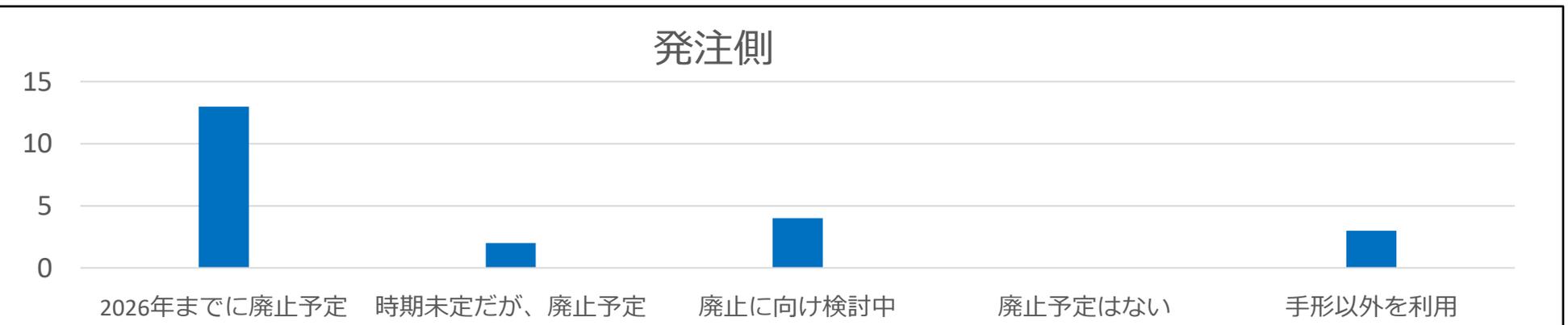
### 【設問と回答】

設問. 下請代金を手形等で支払っている場合（受け取っている場合）、手形等のサイトはどれくらいですか。



### 【設問と回答】

設問. 今後、下請代金の支払いについて、約束手形の利用の廃止を予定していますか。



## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組③支払条件の改善

#### 【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 2026年までの約束手形の利用廃止に向け、経済産業省からの下請取引の適正化に関する文書を会員企業に周知するよう引き続き努める。

# 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

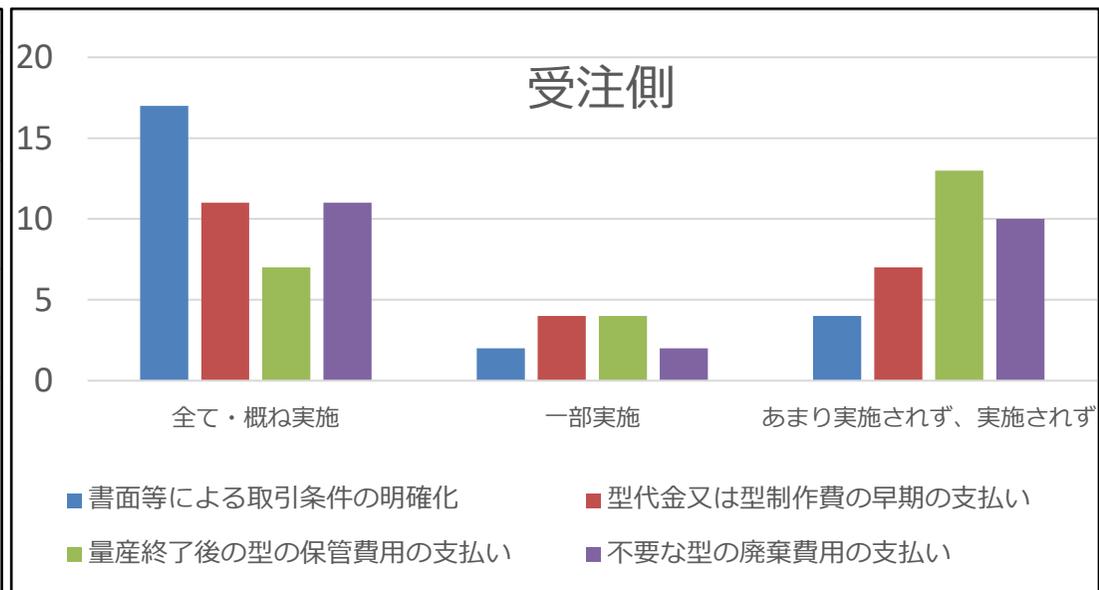
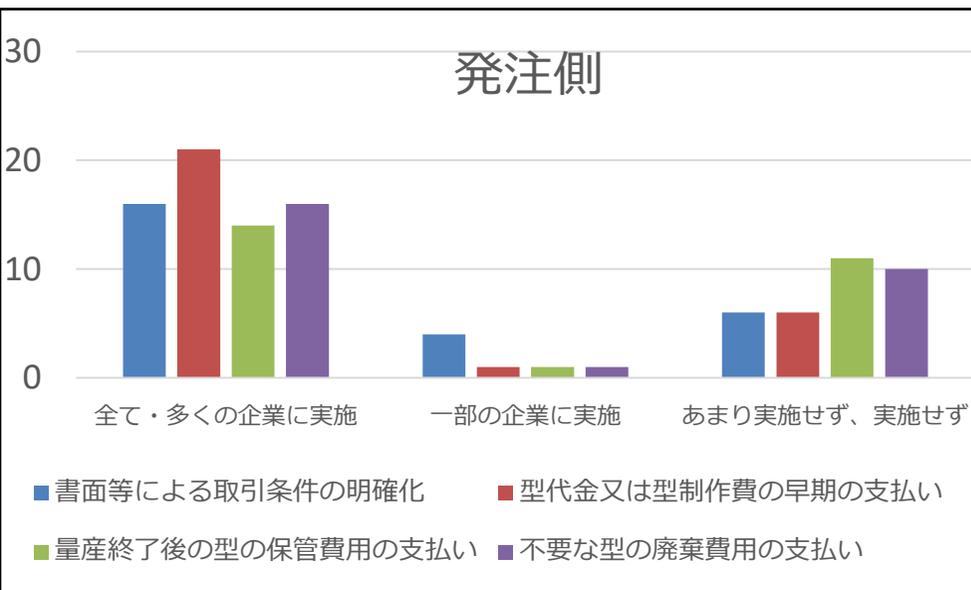
## 重点課題に対する取組④型取引の適正化

### 【分析結果・今後の課題】

- ・発注側、受注側とも型管理における適正化や改善の取組が「あまり実施されていない」「実施されていない」との回答が一定割合あり、改善の取組が必要。

### 【設問と回答】

設問. 直近1年間で、型管理における適正化や改善への取組の実施状況をお答えください。



## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組④型取引の適正化

#### 【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 量産終了後の型の保管費用および不要な型の廃棄費用の支払いについては、改善が図られるよう引き続き経済産業省からの下請取引の適正化に関する文書を会員企業に周知するよう努める。

## 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

### 重点課題に対する取組⑤知的財産、ノウハウの保護

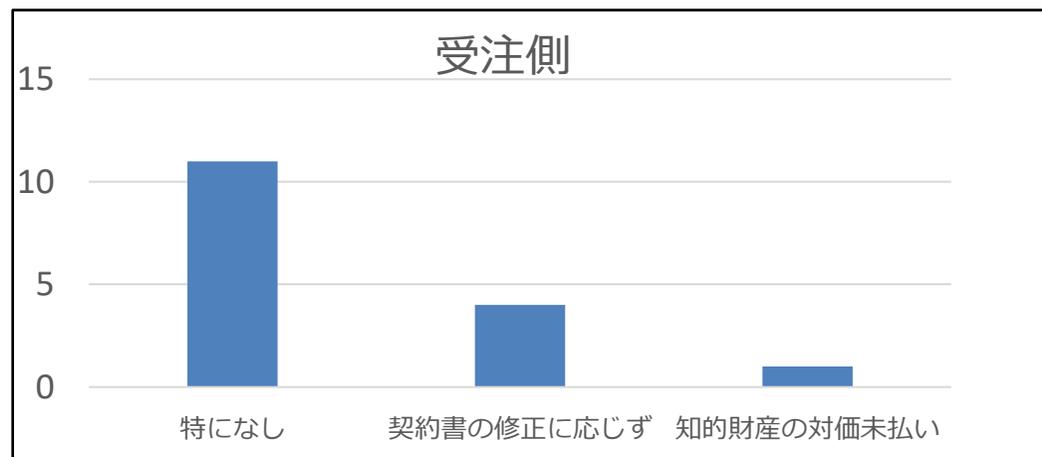
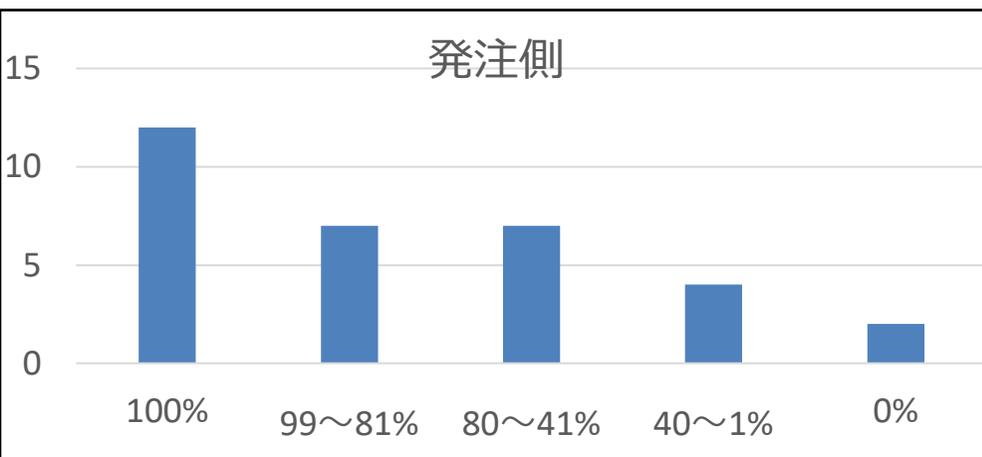
#### 【分析結果・今後の課題】

- ・発注側は、適正な取引を実施するための取組を実施した割合は多く、発注側は、取引先から不当な行為を受けた割合は少なかった。

#### 【設問と回答】

設問. 直近1年間で、知的財産権等を含む取引において適正な取引を実施するための取組を実施した取引先企業の割合をお答えください（発注側）。

直近1年間で、知的財産権等を含んだ取引において取引先企業から受けたことのある行為について、あてはまるものを選んでください（受注側）。



# 2. 令和6年度フォローアップ調査結果と分析

## 重点課題に対する取組⑥働き方改革への対応

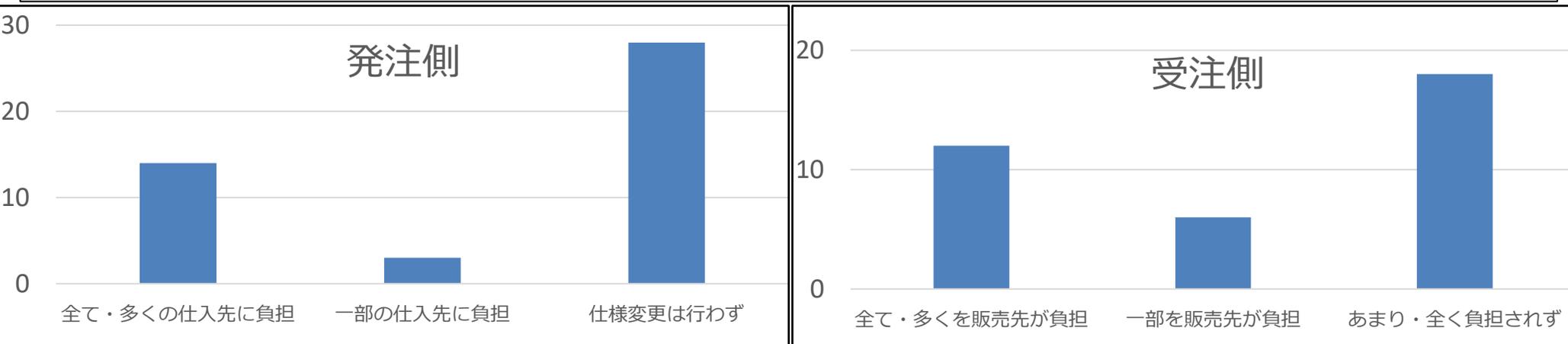
### 【分析結果・今後の課題】

- ・発注側では短納期発注や急な仕様変更は行わず、適正なコスト負担をした割合が高い一方、受注側では販売先から適正なコストを負担してもらえないとの回答が一定割合あり、改善の取組が必要。

### 【設問と回答】

設問. 直近1年間で貴社が行った働き方改革に関する対応により、短納期発注や急な仕様変更などを行った場合に、貴社が適正なコストを負担した状況をお答えください（発注側）。

直近1年間で、販売先が実施した働き方改革に関する対応の結果、短納期発注や急な仕様変更などを行った場合、適正なコストを発注側企業（販売先）が負担しましたか（受注側）。



### 3. 取引適正化に向けた今後の取組

#### 【今後の取組】

- ・ 令和4年度から毎年、アルミ製品メーカー（地金、圧延・押出、加工・組立、鋳鍛造各部門に所属の企業）に対し、「アルミ製造に係るコスト及び価格転嫁の状況に関するアンケート調査」を実施し、報道へリリースするとともに当協会ホームページに掲載してきた。今後も原燃料価格や為替などの動向も注意深く見守りながら、フォローアップしていきたい。